

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為（判断）とは異なる行為（判断）を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成21年10月15日に不適合管理委員会で審査された不適合事象は、下記のとおりです。

区分Ⅰ：該当なし

区分Ⅱ：該当なし

区分Ⅲ：該当なし

その他：13件

No.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	発電所構内に設置されている予備変電所のシャッター隙間及び室内壁面の亀裂部に雨水の浸入が認められたため、当該部を点検・修理	D	
2	4号機	タービン駆動原子炉給水ポンプ（B）再循環流量調節弁の点検において、弁体・弁棒の接続部に緩み（ガタツキ）が認められたため、当該部品を交換	D	
3	4号機	気体廃棄物処理系排ガス予熱器（B）の出口温度関連計器の点検において、当該計器用電源スイッチに動作不良が認められたため、当該電源スイッチを交換	D	
4	4号機	放射性廃棄物として処理することになっている可燃物撤去品（アクリル板2枚）を汚染の無いことを確認した後、誤って放射線管理区域外へ搬出したため、対応検討	C	
5	4号機	計装用及び所内用空気圧縮装置へのタービン補機冷却水入口圧力制御弁のバイパス弁に動作不良（閉固着）が認められたため、当該弁を点検・修理	D	
6	4号機	主蒸気隔離弁（外側弁-B）の浸透探傷検査において、弁体シート面に指示模様は認められたため、当該部品を交換	D	
7	4号機	主復水器真空ポンプのドレン弁（2次弁）に動作不良（閉固着）が認められたため、当該弁を点検・修理	D	
8	4号機	原子炉格納容器除湿冷却系の局所空調機用冷却水入口弁及び出口弁（各1台）に動作不良（操作盤のスイッチ「開」位置で開動作せず）が認められたため、当該弁の開閉制御回路を点検・修理	D	
9	4号機	原子炉冷却材浄化系の非再生熱交換器用冷却水入口弁及び冷却水温度調節弁の前弁、後弁、バイパス弁（計4台）にシートリークの可能性が認められたため、当該弁を点検・修理	D	
10	5号機	気体廃棄物処理系活性炭ホールドアップ塔の出口放射線モニタの点検において、活性炭ホールドアップ塔出口隔離弁の開閉表示用リミットスイッチに動作不良が認められたため、当該リミットスイッチを点検・調整	D	
11	5号機	タービン駆動原子炉給水ポンプ（B）出口弁の弁箱と上蓋の接続部より水のリーク（1～2秒間に1滴程度）が認められたため、当該部を点検・修理	D	
12	集中環境施設	濃縮廃液乾燥固化系の造粒機（B）用加振器の計装用空気配管が外れていたため、当該配管を点検・修理	D	
13	その他	気象日報の確認において、降雨がないにも関わらず、感雨計の動作記録が表示されていたため、当該感雨計を点検・修理	D	

【凡例】

公表区分	事象の概要	主な具体例
区分Ⅰ	法律に基づく報告事象等の重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画外の原子炉停止</li> <li>・発電所外への放射性物質の漏えい</li> <li>・非常用炉心冷却系の作動</li> <li>・火災の発生 など</li> </ul>
区分Ⅱ	運転保守管理上、重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以下のうち、法律に基づく報告事象に該当しない軽度な場合                             <ul style="list-style-type: none"> <li>* 安全上重要な機器等の機能に支障を及ぼすおそれのある故障</li> <li>* 管理区域内の放射性物質の漏えいが継続している場合 など</li> </ul> </li> <li>・原子炉への異物の混入 など</li> </ul>
区分Ⅲ	運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点からすみやかに詳細を公表する事象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画外の原子炉または発電機出力の軽度な変化</li> <li>・原子炉の安全、運転に影響しない機器の故障</li> <li>・原子力発電設備に係わる機器に影響を及ぼす水の漏えい</li> <li>・圧力抑制室等への異物の混入</li> <li>・原子力発電設備に係る業務における人の障害 など</li> </ul>
その他	上記以外の不適合事象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常小修理 など</li> </ul>

<原子力発電所における不適合事象の是正管理>

原子力発電所では、設備の健全性を維持し、安全運転を継続するため、発電所設備の定期検査や運転中の巡視点検、定例試験、点検・修理等を行っております。その中で、「不適合」が発見された場合には、「不適合管理マニュアル」に基づき、必要な是正措置を講じることとしております。

\* 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為（判断）とは異なる行為（判断）を言います。

不適合管理グレード分け（不適合管理委員会にて決定）

- A s : 法令、安全協定に基づく報告事象  
プラントの性能、安全性に重大な影響を与える事象
- A : 国、地方自治体等へ大きな影響を与える事象  
定期検査工程へ大きな影響を与える事象
- B : 国の検査等で指摘を受けた不適合事象  
運転監視の強化が必要な事象
- C : 品質保証の要求事項に対する軽微な不適合事象
- D : 通常のメンテナンス範囲内の事象
- 対象外 : 消耗品の交換等の事象

<注 意>

掲載内容に関するお問い合わせにつきましては、下記のお電話までお願いいたします。

電 話：0240-32-3432 福島第一原子力発電所・広報部・情報発信グループまで